

【 高速道路ドライブアドバイザーによる解説】

期間中の金沢支社管内の全路線（E8 北陸道・E41 東海北陸道・E27 舞鶴若狭道）の日平均断面交通量は、昨年の約 22,300 台に対して約 21,200 台と約 5%減少しました。

大きな天候の乱れが無かった昨年度と比べ、期間後半に降雪を伴う悪天候があったこと、事前に悪天候が予報されていたことにより、E8 北陸道では交通量のピーク日であった 3 日（水）の上下線合計の日平均断面交通量が、昨年度のピーク日であった 3 日（火）と比べて約 11%減少しました。

- 期間中の各路線の交通量は以下のとおりでした。

E8 北陸道の日平均断面交通量は昨年度の約 27,100 台に対して約 25,900 台と約 4%減少しました。

上下線合計のピーク日は 3 日（水）で約 30,100 台〔昨年度は 3 日（火）で約 33,800 台〕（11%減少）

上り線（米原方面）のピーク日は 3 日（水）で約 15,100 台〔昨年度は 3 日（火）で約 17,000 台〕

下り線（新潟方面）のピーク日は 3 日（水）で約 15,000 台〔昨年度は 3 日（火）で約 16,800 台〕

E41 東海北陸道の日平均断面交通量は昨年度の約 6,700 台に対して約 6,300 台と約 6%減少しました。

上下線合計のピーク日は 30 日（土）で、約 7,800 台〔昨年度は 3 日（火）で 8,400 台〕（7%減少）

上り線（岐阜方面）のピーク日は 3 日（水）で約 3,800 台〔昨年度は 3 日（火）で約 4,400 台〕

下り線（富山方面）のピーク日は 30 日（土）で約 4,200 台〔昨年度は 3 日（火）で約 4,000 台〕

E27 舞鶴若狭道の日平均断面交通量は昨年度の約 7,000 台に対して約 6,500 台と約 7%減少しました。

上下線合計のピークは 2 日（火）で、約 8,200 台〔昨年度は 3 日（火）で約 9,600 台〕（15%減少）

上り線（舞鶴方面）のピークは 30 日（土）で約 4,500 台〔昨年度は 30 日（金）で約 4,100 台〕

下り線（敦賀方面）のピークは 2 日（火）で約 4,700 台〔昨年度は 3 日（火）で約 5,700 台〕

- 通行止めの発生回数は 2 回でした。〔昨年度は 3 回〕

内訳は、事故通行止めが 2 回でした。（詳細は別紙参照）

1 月 1 日（月）E27 舞鶴若狭道 上り線 敦賀 JCT～若狭美浜 IC 間 原因：事故

1 月 1 日（月）E27 舞鶴若狭道 下り線 若狭美浜 IC～敦賀 JCT 間 原因：事故

- 延長 5km 以上の渋滞は発生しませんでした〔昨年度も発生しておりません〕

期間中に発生した渋滞の最大渋滞長は 3 日（水）に E8 北陸道の上り線（米原方面）の敦賀トンネル付近を先頭に発生した 4.5km でした。渋滞原因は事故でした。

冬用装備とチェーン携行および安全な走行にご協力いただきありがとうございました。

今後も引き続き、気象予報にご注意いただき、冬期の高速道路では冬用装備および安全走行に心掛けていただきますようお願いいたします。